

令和2年度（令和元年度事業）
教育委員会に関する事務の
点検・評価報告書

令和2年8月
周防大島町教育委員会

目 次

◆ はじめに	1
◆ 学校教育	2
1 確かな学力の育成	3
2 豊かな心の育成	5
3 家庭・地域と一体となった学校づくりの推進	7
◆ 社会教育	9
1 多様なライフスタイルに対応した生涯学習の推進	10
2 地域教育力活性化の推進	17
3 人権教育の推進	20
4 スポーツの振興	23
◆ 総務	27
1 中学校の再編に向けた対応	28
2 油田小学校と森野小学校の統合に向けた対応	29
3 学校施設等の整備・拡充	29
4 周防大島町学校施設長寿命化計画策定業務	30
5 周防大島町語学留学生派遣事業	30

【はじめに】

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、平成 20 年 4 月から、全ての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、効果的な教育行政を推進し、住民への説明責任を果たすことが求められており、その結果に関する報告書を作成し、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定により、議会に提出するとともに、公表することとなっております。

そこで、今年度の報告書を公表します。

2 点検・評価の対象・期間

点検評価の対象は、平成 31 年度の周防大島町の基本方針（学校教育・社会教育）に基づく施策と学校環境整備の主な事業を対象としました。

点検評価の対象期間は、平成 31 年 4 月から令和 2 年 3 月までの事業です。

3 点検・評価の方法

点検・評価対象とした重点施策は昨年と同様としており、次のとおり 4 段階の総合評価（自己評価）を設定しました。

- ① 計画どおり
- ② 概ね計画どおり
- ③ 具体的改善策が必要
- ④ 全般にわたり要検討

4 まとめ

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価については、例年どおりとしております。

評価の手法等について、今後更に効果的な教育行政を推進し、町民への教育行政評価の客観性・透明性を図り、的確な評価に向け取り組みを改善してまいります。

学 校 教 育

【学校教育課】

学校教育は、人格の完成をめざし、平和で民主的な国家及び社会の形成者の育成を目的としている。この目的達成のためには、基礎的・基本的な学習内容の定着を図り、学ぶ意欲や向上心等を高めるとともに、感謝の心や思いやり、困難に負けないたくましい心身の育成など、「生きる力の育成」が必要である。

そのために、各学校においては、次の3点を大切にして学校教育を充実していく。

- 1 子どもにかかわる教職員の資質や指導力の向上を図る。
- 2 保護者や地域とのつながりを大切にし、特色のある教育活動を展開する。
- 3 よさや課題を明確にし、長期的な視点からよりよい学校づくりをめざす。

1 確かな学力の育成

- 子どもにとって魅力ある授業や子どもの実態に応じた指導のあり方を追究するとともに、ICT機器を効果的に活用し、子どもが主体的に学び、思考を深めることができる学習展開を図る。
- 小・中学校でつながりのある英語教育の取組を展開し、英語によるコミュニケーション能力の向上を図る。
- 地域の特性等を踏まえて、KS学習（拡大集合学習）や小中連携教育、中高一貫教育等の教育活動の一層の工夫を図る。
- 特別支援教育充実のために、校内コーディネーターを中心とした校内体制を構築するとともに、支援員の配置等により個に応じた指導の充実を図る。
- 小学校5・6年生対象の漢字・算数検定、中学生対象の英語・漢字・数学検定を助成し、自ら目標をもって学習に取り組もうとする意欲を高める。

<p>◆ICT機器を効果的に活用した子どもが主体的に学ぶ魅力ある授業実践の推進</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板並びにスタディネット及びコラボノート等のソフトウェアを町内全小中学校で整備するとともに、教職員がいつでもICT研修を行うことができるよう東和総合センターに無線LAN環境を整え、研修の成果を上げている。 ・ICT機器活用に係るセミナーを開催し、授業研究を通して協議を深めている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業における効果的なICT機器活用についての研修機会の充実を図り、本町教育の特色の一つであるICT教育を積極的に推進すること。 ・プログラミング学習についても研究を進めていく必要がある。
<p>◆英語コミュニケーション能力の高い児童生徒の育成</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル教育推進事業（沖浦小、三浦小、久賀小、森野小、明新小）小学校低学年から会話を中心とした外国語教育に取り組み、その成果を町内に広めている。保育園から中学校にかけての連携した取組により、児童の英語への関心が高まっている。 ・小学生イングリッシュキャンプ 9月23日、岩国市ペリースクールで実施した。小学校6年生13名の参加があった。

	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル教育推進事業や英語講師派遣事業により、小学校低学年からの取組を充実すること。 ・開催時期や募集時期等を工夫し、小学生イングリッシュデイキャンプへの参加者の増加を図ること。
<p>◆KS学習（拡大集合学習）や小中連携教育、中高一貫教育等の教育活動の工夫。</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KS学習（拡大集合学習）においては、児童がより大きな集団の中で学習し考えを深めることができることをねらい、教員同士が連携を図っている。 ・小中連携教育においては、授業研究を合同で行うなどして、授業改善に向け、効果的な取組が行われた。 ・中高一貫教育の取組においては、生徒が校種の異なる教員から学ぶことを通して、高校での学習を見通した授業を体験する貴重な機会となっている。 <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小小間や中高一貫の取組の成果を上げるために、児童生徒の実態把握や授業についての情報交換を進めること。
<p>◆特別支援教育充実のための、校内体制の構築と、支援員の配置等による個に応じた指導の充実。</p> <p>【総合評価】 計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内コーディネーターを中心に各校の研修が進み、児童生徒の特性を理解し、教員のみならず支援員も含めて適切な支援をすることの大切さについては、各校の認識も深まっている。また、専門的な立場からの指導を受けることについての意識も高くなってきた。 ・通常学級に在籍する発達障害等、個別の支援が必要な児童生徒や、特別支援学級に在籍する児童生徒の学習や日常生活を支援するために、13校に32人の支援員を配置した。 <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者を巻き込んだ支援体制の充実を図ること。
<p>◆検定助成による児童生徒の主体的に学習に取り組む意欲の向上</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検定助成 <ul style="list-style-type: none"> 小学校5・6年対象 漢字・算数検定 中学生対象 英語・漢字・数学検定 ・平成31年度中の検定受検率（検定受検率の向上） <ul style="list-style-type: none"> 小学校 漢字94%、算数80% 中学校 漢字80%、数学43%、英語81% ・合格率 <ul style="list-style-type: none"> 漢字 8級86%、7級48%、6級63%、5級59%、4級33%、3級37%、準2級42%、2級100% 数学 8級78%、7級67%、6級80%、5級45%、4級39%、3級69% 英語 5級79%、4級66%、3級40%、準2級67%、2級0%

【課題】

- ・各学校で事前・事後の指導の充実を図り、児童生徒が目的を明確にして取り組めるようにすること。
- ・各級の合格率について、さらに高めていくこと。

2 豊かな心の育成

- いじめや不登校、問題行動等を未然に防止するために、開発的・予防的な生徒指導や相談体制の充実に取り組むとともに、状況に応じて関係機関や関係校とも積極的に連携し、早期解決を図る。
- 子ども一人ひとりの人権尊重意識を高め、互いの人権を尊重し合う態度を育む。
- 発達段階に応じた道徳教育の充実と道徳科の授業づくりに努め、基本的な倫理観や社会性、規範意識などを育む。
- 子どもの健康の状況等を把握し、食育等の健康教育について意図的・計画的な取組を行う。
- 子どもの体力の状況等を把握し、体育の授業を充実し、主体的に運動に取り組む楽しさを味わわせる。

<p>◆いじめや不登校を未然に防ぐための、開発的・予防的な生徒指導や相談体制の充実</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none">・毎週1回の「生活（いじめ）アンケート」等を行うことにより、いじめの早期発見や不登校の未然防止につとめた。・「あろは教室」（適応指導教室）に登校した生徒の学習意欲の向上が見られた。・保小、小中連携のもと、校種間の情報交換が行われている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none">・個別に配慮が必要な児童生徒の理解と指導方法の工夫など、深い児童生徒理解に基づいた取組を全小中学校で進めること。
<p>◆人権教育の充実</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none">・「山口県人権推進指針」及び「山口県人権教育推進資料」に基づき、年間計画の見直しを図り、学校や地域の実情や児童生徒の実態を踏まえた取組が進められた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none">・基本的人権の尊重を基本として、学校が、児童生徒にとって安心して、楽しく学ぶことのできる環境となるよう体系的・計画的に人権教育についての研修を進めていくこと。

<p>◆基本的な倫理観や社会性、規範意識などを育む、道徳教育の充実と道徳の授業づくり。</p> <p>【総合評価】 計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的な道徳科の授業実践により、児童生徒の道徳的実践力の育成が図られている。 <p>※「学校の決まりを守っている」と答えた割合（小6、中3対象調査）</p> <table border="1" data-bbox="647 360 1195 517"> <thead> <tr> <th></th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>94.1</td> <td>92.6</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>94.8</td> <td>92.4</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>94.3</td> <td>97.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳科の取組をさらに充実させるために、評価やカリキュラム等の研究を進めていくこと。 ・社会性や規範意識等の醸成を図るため、コミュニティ・スクールを活用して家庭や地域とのかかわりを強め、道徳教育の一層の充実に取り組むこと。 		小学校	中学校	H29	94.1	92.6	H30	94.8	92.4	R1	94.3	97.6												
	小学校	中学校																							
H29	94.1	92.6																							
H30	94.8	92.4																							
R1	94.3	97.6																							
<p>◆児童生徒の健康状態等の把握と健康教育についての意図的・計画的な取組</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内児童生徒の健康面に関する情報をまとめた「周防大島町児童生徒健康・体力誌」を作成し、傾向と課題を分析し、具体的な取組を展開している。 ・全小中学校で「体力向上プラン」を作成して1校1取組（重点的取組）をすすめ、持久力や調整力等を高めることができた。 <p>※体力合計点全国平均との比較</p> <table border="1" data-bbox="633 1140 1324 1357"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">小5</th> <th colspan="2">中2</th> </tr> <tr> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>女子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>+0.9</td> <td>+2.1</td> <td>±0</td> <td>+3.2</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>+2.7</td> <td>+3.5</td> <td>±0</td> <td>+5.6</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>-2.1</td> <td>-0.5</td> <td>-0.7</td> <td>-0.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師会や福祉部局と連携し、生活習慣病の予防や健康な身体づくり、体力向上に取り組むこと。 ・学年によって、体力の差が大きいため、継続的な取組が必要である。 		小5		中2		男子	女子	男子	女子	H29	+0.9	+2.1	±0	+3.2	H30	+2.7	+3.5	±0	+5.6	R1	-2.1	-0.5	-0.7	-0.1
	小5		中2																						
	男子	女子	男子	女子																					
H29	+0.9	+2.1	±0	+3.2																					
H30	+2.7	+3.5	±0	+5.6																					
R1	-2.1	-0.5	-0.7	-0.1																					
<p>◆体育授業の充実</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習カード」「がんばりカード」等の工夫により、子どもたちが目標を持って体育授業や体力づくりに取り組んでいる。 ・郡陸上大会に全中学校が参加し、記録の向上と大会運営にかかわることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動への取組において児童生徒の二極化が見られる。児童生徒が進んで運動できる環境づくりをすること。 																								

3 家庭・地域と一体となった学校づくりの推進

- コミュニティ・スクールや地域協育ネットの仕組みを生かした地域連携教育に取り組み、子どもの豊かな交流・体験活動における価値付けを図り、ふるさとに誇りがもてる子どもを育てる。
- 学校と家庭・地域が連携してキャリア教育の取組を一層充実させ、発達の段階に応じて、夢や目標を大切に生きていこうとする子どもを育てる。
- 読書から得られるものを大切にして、学校と家庭が連携して読書の機会を促し、主体的に読書に親しみ学んでいこうとする心を育てる。
- 学校内外の安全や交通安全、自然災害等への対応に向けて、地域と連携した取組や校内体制の整備を推進し、学校の危機対応能力の強化を図る。
- 学校にかかわる多くの地域人材の力を学校経営に生かし、子どもの豊かな学びや育ちを保障する学校をめざす。

<p>◆ふるさとに誇りがもてる子どもの育成に向けた地域連携教育の充実</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校での取組を中学校区で共有し、9年間を見通した取組を展開している。 ・ふるさとの伝統や文化の特色を生かした体験活動に取り組みながら、児童生徒の豊かな心情の醸成を図っている。大島地区3小学校が民泊体験に取り組んだ。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の実践をよりよいものにするために、「地域連携活動年間計画」の様式を整えていくこと。 ・学校で取組の成果や課題についての協議を行い、児童生徒の実態や発達段階に応じた効果的な取組を継続すること。 						
<p>◆学校と家庭・地域が連携したキャリア教育の充実</p> <p>【総合評価】 計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内小学校4年生が集まり、将来の夢や目標を発表する「2分の1成人式」を行った。 ・中学校では、地域の行事への企画段階からの参画やボランティアとしての参加など、地域の一員としての主体的な取組が見られる。 ・小学校では、学習支援ボランティアや見守りボランティアの人たちとの日常的な交流など、工夫した取組が見られる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の育ちの観点から、取組の成果を検証し、一層の充実を図ること。 						
<p>◆主体的に読書に親しみ学んでいこうとする心の育成。</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書活動を積極的に推進するために、図書紹介コーナーの設置や読書カードの活用、読書通帳等、各小中学校で工夫した取組を行っている。 ・地域の読み聞かせの会や読書活動推進員の配置（5名）等により、朝の読書活動や家庭での読書等、読書習慣が身に付いてきている。 <p>※「30分以上読書する」と答えた割合（小6、中3対象調査）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tbody> <tr> <td></td> <td>小学校</td> <td>中学校</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>35.3</td> <td>30.9</td> </tr> </tbody> </table>		小学校	中学校	H29	35.3	30.9
	小学校	中学校					
H29	35.3	30.9					

		H30	35.1	34.2
		R1	37.3	27.6
		【課題】 ・児童生徒の興味や関心にそった読書支援を行うために、読書支援員等による図書室整備を行うこと。		
◆地域と連携した防災教育の充実 【総合評価】 概ね計画どおり	【成果】 ・火災だけでなく、地震・津波等の自然災害を想定した研修や訓練を重ねて、危機管理マニュアルの見直しを図っている。 ・学校単独ではなく、保小、小中合同や地域と連携した避難訓練を実施するなど工夫が見られる。	【課題】 ・児童生徒への指導や訓練等を通して、教職員、児童生徒一人ひとりが常に危機意識を持って取り組むこと。		
◆「地域人材の力」を生かした学校経営 【総合評価】 概ね計画どおり	【成果】 ・コミュニティ・スクールの仕組みを生かして、地域の人材等を活用して、地域の特色を生かした体験活動や行事等を教育課程に位置付けて取り組んでいる。 ・各学校とも、学校便り（校長便り）等を通して、学校の取組や様子について情報提供をしている。教育委員会では、東和総合センター大ホール入口に掲示板を設け、小中学校並びに周防大島高校の学校便りを掲示し情報発信に努めている。 ・コミュニティ・スクールとしての取組の充実を図り、地域や保護者の声を学校経営に生かそうとしている。	【課題】 ・学校の課題を解決するために、地域や保護者と一体となり取組の充実を図ること。		

社 会 教 育

【社会教育課】

国際化、情報化や科学技術の進展にともなう価値観の多様化、また、環境問題の深刻化、少子高齢化などの社会状況の変化の波は本町にも押し寄せている。近年は、町民個々の学習ニーズも多岐にわたり、また、わが町が長年培ってきた家族や地域ぐるみの「共同体に支えられた教育基盤」も変容しつつある。

そこで、本町では、人権尊重の理念を基礎として、新たな時代に対応できる町民の育成と、高齢化社会における健康と生きがいづくりに向け、「だれでも、いつでも、どこでも」学び、ふれあい、楽しめる社会教育の実現を目指す。

加えて、私たちの心の豊かさの源であり、郷土への誇りとなる特色ある文化遺産の継承と地域文化の創造に努め、本町教育の基本方針である「自立・協働・創造～ふるさとに誇りがもてる人づくり・地域づくり」の具現化を図った。

1 多様なライフスタイルに対応した生涯学習の推進

- 多様なニーズにあった生涯学習情報や学習機会の提供・学習内容の充実
- 社会教育施設の環境整備と利用の提供
- 郷土の歴史・芸能・文化の保存・継承と文化活動の推進
- 読書活動の奨励

<p>◆公民館における 学習講座の開催</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館主催の生涯学習講座は、4講座を実施した。 <p>なお、橘地区は、シニアクラブ連合会主催で、ことぶき大学という高齢者講座が開かれている。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>生涯学習講座</th> <th>開催施設</th> <th>対 象</th> <th>開催回数</th> <th>延受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>はつらつ講座</td> <td>大島公民館</td> <td>町 民</td> <td>5 回</td> <td>378 人</td> </tr> <tr> <td>悠遊教室</td> <td>久賀公民館</td> <td>町 民</td> <td>9 回</td> <td>109 人</td> </tr> <tr> <td>生涯学習講座</td> <td>久賀公民館</td> <td>町 民</td> <td>2 回</td> <td>45 人</td> </tr> <tr> <td>かがやき塾</td> <td>東和総合センター</td> <td>町 民</td> <td>9 回</td> <td>466 人</td> </tr> <tr> <td>おれんじ倶楽部</td> <td>橘公民館</td> <td>町 民</td> <td>5 回</td> <td>66 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習講座 <p>高齢化の進展した本町にとって、高齢者に対する学習機会の提供を続けることは大切だが、青壮年層からの参加も考慮した講座づくりも必要となっている。</p> <p>学習者のニーズや今日的課題を盛り込んだ学習内容を進めて行くと共に、各地区で開催されている講座を受講者が気軽に受講できるよう、施設間の情報連携を図ること。</p>	生涯学習講座	開催施設	対 象	開催回数	延受講者数	はつらつ講座	大島公民館	町 民	5 回	378 人	悠遊教室	久賀公民館	町 民	9 回	109 人	生涯学習講座	久賀公民館	町 民	2 回	45 人	かがやき塾	東和総合センター	町 民	9 回	466 人	おれんじ倶楽部	橘公民館	町 民	5 回	66 人
生涯学習講座	開催施設	対 象	開催回数	延受講者数																											
はつらつ講座	大島公民館	町 民	5 回	378 人																											
悠遊教室	久賀公民館	町 民	9 回	109 人																											
生涯学習講座	久賀公民館	町 民	2 回	45 人																											
かがやき塾	東和総合センター	町 民	9 回	466 人																											
おれんじ倶楽部	橘公民館	町 民	5 回	66 人																											

<p>◆町民の自主的活動の支援</p> <p>【総合評価】 計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・趣味や教養を高めたり健康づくり等の学習をする 112 の自主学習グループが、公民館等を利用し活動した。これらのグループの活動に対し、活動状況を取りまとめた紹介チラシを作成し、全戸配布により活動の紹介と参加募集を支援した。また、公民館等の使用料(冷暖房費を除く)を免除して、運営を支援した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習方法や内容に対する相談体制の整備、適切な学習情報の提供、学習成果を生かせる場やグループ相互の交流の場を提供しているが、より多くの住民に自ら学ぼうとする意欲を高めていただくこと。 																					
<p>◆学習情報の発信</p> <p>【総合評価】 計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館主催の生涯学習講座は、年度初めに講座内容を紹介したチラシの全戸配布をはじめ、町広報、ホームページへ掲載し募集した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習に関する情報提供誌の発行等の方法を検討し、生涯学習の普及・啓発に取り組むこと。 																					
<p>◆学習成果の発表機会の提供</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習者の日頃の学習成果の発表の機会として、各地域で、文化祭、展示会、生涯学習発表大会等を開催した。 <table border="1" data-bbox="496 1193 1482 1637"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>会場</th> <th>開催月日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芸能文化の集い (歌と踊りの集い)</td> <td>大島文化センター</td> <td>7/6</td> </tr> <tr> <td>大島ふるさと文化祭 (大島うずしおフェスタ) 作品展示</td> <td>大島文化センター</td> <td>3/3~3/10</td> </tr> <tr> <td>文化作品展</td> <td>久賀総合センター</td> <td>10/19~11/16</td> </tr> <tr> <td>第31回橘生涯学習発表大会 (第62回文化芸能の部)</td> <td>橘総合センター</td> <td>11/3</td> </tr> <tr> <td>第31回橘生涯学習発表大会 (第62回作品展示の部)</td> <td>橘総合センター</td> <td>11/9、10</td> </tr> <tr> <td>第31回ふれあいコンサート in くか</td> <td>久賀総合センター</td> <td>11/2</td> </tr> </tbody> </table> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の発表の場として各地域に根付いたイベントとなっている。今後も学習者が主体的に運営に関わる運営方法を検討するとともに、生涯学習の活動の意義を地域に発信していきたい。 	事業名	会場	開催月日	芸能文化の集い (歌と踊りの集い)	大島文化センター	7/6	大島ふるさと文化祭 (大島うずしおフェスタ) 作品展示	大島文化センター	3/3~3/10	文化作品展	久賀総合センター	10/19~11/16	第31回橘生涯学習発表大会 (第62回文化芸能の部)	橘総合センター	11/3	第31回橘生涯学習発表大会 (第62回作品展示の部)	橘総合センター	11/9、10	第31回ふれあいコンサート in くか	久賀総合センター	11/2
事業名	会場	開催月日																				
芸能文化の集い (歌と踊りの集い)	大島文化センター	7/6																				
大島ふるさと文化祭 (大島うずしおフェスタ) 作品展示	大島文化センター	3/3~3/10																				
文化作品展	久賀総合センター	10/19~11/16																				
第31回橘生涯学習発表大会 (第62回文化芸能の部)	橘総合センター	11/3																				
第31回橘生涯学習発表大会 (第62回作品展示の部)	橘総合センター	11/9、10																				
第31回ふれあいコンサート in くか	久賀総合センター	11/2																				

◆社会教育施設の活用

【総合評価】
概ね計画どおり

【成果】

・平成 27 年度に設立した社会教育施設連携協議会は、引き続き町内の社会教育施設（宮本常一記念館、八幡生涯学習のむら、日本ハワイ移民資料館、周防大島町総合体育館・陸上競技場）の施設間相互の情報交換や情報発信、所蔵資料の保存や公開へのあり方を検討する場として事業を行った。活動内容としては、会報誌「あそぶ・まなぶ・語る」の隔月発行や、研修視察（広島市）を行った。

【宮本常一記念館】

・島の歴史や文化、自然環境の変遷を学ぶ宮本常一記念館では、生業・生活文化に関わる展示のほか、令和元年度は小中学校を対象とし、「宮本常一の撮った写真を調べるコンクール」（優秀な作品を記念館で展示）を実施した。
・企画展「宮本常一、旅と鉄道」を行った。また、本年度も前年度に引き続き『宮本常一農漁村探訪録 22 下北半島調査ノート（1）』を発行した。
・「宮本常一旅学講座」（全 3 回）を開催し、金谷匡人氏（山口県文書館副館長）、斎藤潤氏（紀行家）、森田哲史氏（元ミシュラン社長室長）による講演を主催した。
・市原市湖畔美術館「サイトスペシフィック・アート 民俗学者・宮本常一に学ぶ」や熊本市立熊本博物館『「旅の巨人」と呼ばれた民俗学者・宮本常一」などの企画展示に所蔵資料を提供するなどして協力した。
・その他、写真資料等の貸出や、講演会等への講師派遣を行った。また、大学等の研究者による資料調査についても対応をした。

【日本ハワイ移民資料館】

・日本ハワイ移民資料館は、日本とハワイ移民の歴史を基に、その資料を収集保存し、活用を図る施設として設置しており、移民に関する歴史的、文化的資料の展示等を行っている。
・開館 20 周年記念行事について
2019 年 2 月 8 日に開館 20 周年を迎えたことに伴い、「知られざるハワイ移民史」と題し、ハワイ移民資料館仁保島村（広島市）の川崎館長による講演会を 8 月 4 日に開催した。また、同 24 日には日本ハワイ移民資料館のカルチュラルアドバイザーの西田純子氏による「サトウキビを通して学ぶプランテーション文化」と題した記念講座も開催、2 月 8 日にはサトウキビプランテーションで日系労働者が歌った「ホレホレ節」から読み取る当時の移民の生活やハワイの社会について、映像を交えて学ぶ講座を開催した。
・ノートパソコンの更新について
海外在住者からの寄付金を受け、ノートパソコン 1 台を購入した。
・大島国際交流協会（代表：川野憲生）と平成 30 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日までの 5 年間の指定管理契約を締結済み。

【八幡生涯学習のむら】

・八幡生涯学習のむらは、拠点施設の町衆文化伝承の館、宮本常一の指導の下に収集された民俗資料を展示・保存している久賀歴史民俗資料館や諸職用具収蔵庫、陶芸の館等が設置されている町衆文化の薫る郷公園によって構成されており、各施設は生涯学習や交流の場としての役割を果たしている。

	<p>・島の生活文化研究会（代表：菊本雅喜）と平成30年4月1日から令和5年3月31日までの5年間の指定管理契約を交わした。</p> <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資料の収集にも努めてきたが、今後はそれらの資料の整備と活用を通じて、他の施設と連携した、より幅広い地域活動に取り組むこと。 ・各種社会教育施設においても、施設の設置目的に応じ、施設の紹介方法や事業内容を工夫し、施設利用者の増加を図るとともに、施設で活動するグループや地域の人材を育成し、公民館と同様に地域の中で生涯学習を推進する重要な役割を担う施設を目指していく。 <p>また、27年度に発足した社会教育施設連携協議会を中心に教育施設間の協力、学校や地域の諸団体との連携を密にしていくこと。</p>
<p>◆文化財の保護、保存、整備</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国や県指定重要文化財及び町指定文化財の巡視や点検等を実施した。 国指定文化財の巡視（毎月） 国指定天然記念物（安下庄のシナナシ） 国指定重要有形民俗文化財（久賀の石風呂） 西長寺木造阿弥陀如来坐像の防火設備点検 ・埋蔵文化財の保護 町内には62の埋蔵文化財包蔵地が点在しており、文化財保護法により、包蔵地内の建設工事等を実施する場合、事前の手続きが必要となる。今年度、土木工事等について、計画地が包蔵地内に位置しているかの照会が複数あり、調査した。 ・服部屋敷の活用 町内外の有志が中心となり、建築技術の文化的価値を学ぶ講座や、機織りの技術伝承に関する取組を行っており、利用率が大幅に上がっている。 ・大島歴史民俗資料館の解体工事 県道の拡幅工事に伴い、大島歴史民俗資料館の解体工事を行った。収蔵していた大瓦等の資料は選別して旧田布施農業高校大島分校屋内運動場へ移転した。 <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も劣化の進行した国指定重要有形民俗文化財の保存修理（定期的な燻蒸等）が必要である。 ・各地区民俗資料館の施設の老朽化に伴い、資料の保存、展示方法等について、今後の資料館の効果的で特色ある運営のあり方について、移転や集約を含めて検討していくこと。 ・町内の貴重な文化財を広く町民に普及・啓発し、文化財保護への関心と理解を深め、ふるさとの伝統文化を大切にする心の醸成を図ること。

<p>◆文化団体等の育成支援</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】 (周防大島町文化振興会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種文化事業を推進することにより、町民の文化に対する意識高め、もって心豊かな地域づくりに寄与するため、講演会等の開催や他団体が実施する事業への助成・支援を行った。 ・第9回竹問題講演会～環境と観光と地域づくり～ 5/11 ・講演会「長尾八幡宮の建築と彫刻」 5/25 ・星空観察会 8/11 ・平知盛顕彰会 9/11 ・やまぐち2019短歌大会 11/17 ・石村勝宣 林春雪 二人展 11/23 ・ふるさと紙芝居作成(2種) 1月～3月 ・ふるさとの空に唄おう 子守唄コンサート 2/22 ・講演会と盆踊りの実演「やんせ踊りの由来」 2/26 ・屋代島随想第八集刊行 3月 <p>(周防大島町文化振興事業補助金)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の文化団体の活動を支援するための補助金制度。1団体あたり20万円を上限とする。令和元年度は、12団体の応募があり以下の8団体を採択した。 <p>光峰流吟道大島教室 (詩吟を通じて「ボランティア活動、学校支援」「仲間づくりと交流」そして「詩吟の継承と普及」の推進 100,000円)</p> <p>一般社団法人 MAHALO (第二回周防大島野外映画祭 200,000円)</p> <p>大島郡俳句協会 (俳句ポスト「つとむ君」設置事業 200,000円)</p> <p>島ミュージカル制作・実行委員会 (島の伝統と歴史を活かしたミュージカル制作・上演を通じた地域文化振興 200,000円)</p> <p>周防大島歴史劇 発起人会 (大島みかん栽培の歴史劇準備事業 95,000円)</p> <p>島中小のしまなかんのでごしよう9人会 (藤井彦右衛門翁の足跡をたずねて(冊子)の作成 86,000円)</p> <p>星野哲郎先生の音頭を継承する会 (星野哲郎先生の音頭を踊ろう 第2弾 制作 100,000円)</p> <p>大島陶芸教室 つくし窯 (大島地区内小学生の陶芸体験の実施 15,000円)</p>
	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内には、まだ本事業を知らない文化・芸術団体もあると思われるので、本補助金の周知徹底に努めていきたい。

◆町内図書館のネットワーク化の推進とサービスの向上

【総合評価】
計画どおり

【成果】

- ・貸出、返却業務や資料検索の効率化を図るため、資料管理をOA化し、町内図書館の情報の共有化を図るとともに、相互貸出しや相互返却を実施した。
- ・自宅のパソコンや町外図書館等で、インターネットを利用した図書の検索や予約等のできる図書館情報総合システムの活用推進に努めた。

図書館情報総合システムの利用状況	
アクセス	3,633,991件
予約冊数	8,469冊

- ・来館が困難な地区や保育所（園）、小学校への移動図書館の巡回や、地域文庫への図書の貸出を行い、利便性の向上に努めた。

図書館名	貸出方法	実施回数	冊数
久賀図書館	文庫配達	12回	5,919冊
橘図書館	巡回図書	95回	4,185冊
東和図書館	地域文庫8か所	3回	1,800冊
大島図書館	出張所文庫	2回	870冊
	巡回図書	41回	825冊

【課題】

- ・情報内容の充実を図り、システムの利用促進を図る必要がある。
- ・町民が気軽に訪れることができる図書館をめざし、町民からの要望に応じて、不明な事柄について共に調べたり、学習方法、学習情報の相談に応じたりするレファレンスサービスの周知に取り組むこと。

◆町民のニーズに対応した情報収集、資料の整備

【総合評価】
概ね計画どおり

【成果】

- ・蔵書資料は、前年度に比べ図書は8,061冊増え、203,936冊となった。
- ・AV資料は、12点増加し、2,144点となった。

	<p>蔵書資料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>図書館名</th> <th>一般図書</th> <th>児童図書</th> <th>郷土資料</th> <th>AV資料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大島図書館</td> <td>30,523冊</td> <td>12,821冊</td> <td>1,969冊</td> <td>1,342点</td> </tr> <tr> <td>久賀図書館</td> <td>38,532冊</td> <td>20,562冊</td> <td>3,384冊</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>橘図書館</td> <td>34,353冊</td> <td>15,182冊</td> <td>2,327冊</td> <td>388点</td> </tr> <tr> <td>東和図書館</td> <td>26,563冊</td> <td>15,327冊</td> <td>2,393冊</td> <td>414点</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>129,971冊</td> <td>63,892冊</td> <td>10,073冊</td> <td>2,144点</td> </tr> </tbody> </table> <p>利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>図書館名</th> <th>延利用者数</th> <th>貸出冊数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大島図書館</td> <td>10,475人</td> <td>22,999冊</td> </tr> <tr> <td>久賀図書館</td> <td>8,714人</td> <td>22,178冊</td> </tr> <tr> <td>橘図書館</td> <td>7,704人</td> <td>15,511冊</td> </tr> <tr> <td>東和図書館</td> <td>7,993人</td> <td>14,338冊</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>34,886人</td> <td>75,026冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>・毎月新刊案内を発行した。</p> <p>【課題】</p> <p>・全館合計の延利用者数は、前年度に比べ 4,479 人減少し、貸出冊数も 14,087 冊減少した。新型コロナウイルスの影響（3月9日から3月31日まで休館）があるものの、利用者、貸出冊数共に減少幅が大きいことから、市民のニーズを的確に把握し、図書選定を行うとともに、図書の紹介方法等を検討するなど、魅力ある図書館づくりに取り組むこと。</p>	図書館名	一般図書	児童図書	郷土資料	AV資料	大島図書館	30,523冊	12,821冊	1,969冊	1,342点	久賀図書館	38,532冊	20,562冊	3,384冊	—	橘図書館	34,353冊	15,182冊	2,327冊	388点	東和図書館	26,563冊	15,327冊	2,393冊	414点	計	129,971冊	63,892冊	10,073冊	2,144点	図書館名	延利用者数	貸出冊数	大島図書館	10,475人	22,999冊	久賀図書館	8,714人	22,178冊	橘図書館	7,704人	15,511冊	東和図書館	7,993人	14,338冊	計	34,886人	75,026冊
図書館名	一般図書	児童図書	郷土資料	AV資料																																													
大島図書館	30,523冊	12,821冊	1,969冊	1,342点																																													
久賀図書館	38,532冊	20,562冊	3,384冊	—																																													
橘図書館	34,353冊	15,182冊	2,327冊	388点																																													
東和図書館	26,563冊	15,327冊	2,393冊	414点																																													
計	129,971冊	63,892冊	10,073冊	2,144点																																													
図書館名	延利用者数	貸出冊数																																															
大島図書館	10,475人	22,999冊																																															
久賀図書館	8,714人	22,178冊																																															
橘図書館	7,704人	15,511冊																																															
東和図書館	7,993人	14,338冊																																															
計	34,886人	75,026冊																																															
<p>◆高齢者、児童、幼児を対象とした読み聞かせ会の実施</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <p>・読書習慣の形成を図るため、幼児、児童、高齢者等を対象にした話し会や読み聞かせ会等を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>図書館名</th> <th>事業名</th> <th>実施回数</th> <th>延参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">大島図書館</td> <td>おはなし会</td> <td>9回</td> <td>66人</td> </tr> <tr> <td>出前読み聞かせ</td> <td>3回</td> <td>98人</td> </tr> <tr> <td>久賀図書館</td> <td>おはなし会</td> <td>2回</td> <td>38人</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">橘図書館</td> <td>おはなし会</td> <td>11回</td> <td>120人</td> </tr> <tr> <td>読み聞かせ</td> <td>90回</td> <td>1,261人</td> </tr> <tr> <td>音訳ボランティア</td> <td>12回</td> <td>56人</td> </tr> <tr> <td>図書館まつり</td> <td>1回</td> <td>151人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【課題】</p> <p>・読み聞かせで実績のある図書館ボランティアの効果的手法を、各図書館の事業展開に積極的に生かし、町全体で読書に親しむ環境づくりを推進していくこと。</p>	図書館名	事業名	実施回数	延参加者数	大島図書館	おはなし会	9回	66人	出前読み聞かせ	3回	98人	久賀図書館	おはなし会	2回	38人	橘図書館	おはなし会	11回	120人	読み聞かせ	90回	1,261人	音訳ボランティア	12回	56人	図書館まつり	1回	151人																				
図書館名	事業名	実施回数	延参加者数																																														
大島図書館	おはなし会	9回	66人																																														
	出前読み聞かせ	3回	98人																																														
久賀図書館	おはなし会	2回	38人																																														
橘図書館	おはなし会	11回	120人																																														
	読み聞かせ	90回	1,261人																																														
	音訳ボランティア	12回	56人																																														
	図書館まつり	1回	151人																																														

2 地域教育力活性化の推進

- 地域ぐるみで子どもの育ちを支援する「地域協育ネット」の推進
- 家庭の教育力を高める学習機会の充実・相談支援体制の整備
- 青少年の健全育成に関わる情報の提供、相談体制の整備
- 社会教育団体の育成支援

<p>◆学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業の推進</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内全小中学校 14 校を拠点とした、学校支援地域本部事業（地域学校協働活動事業）を実施し、地域の人材・施設・環境を最大限に活用し、学校と地域が協働しながら、子どもにとって魅力のある教育活動を推進した。 さらに、町内の中学校区を単位とした地域協育ネット協議会（小中合同学校運営協議会）で、学校関係者、地域関係者を構成員とした協議やユニット型研修を通して、学校と地域のつながりを深めるとともに、学校教育活動への理解を深めた。 ・家庭教育支援チームによる活動では、6つの小学校の就学時健康診断や一日入学で子育て講座を開催し、家庭の教育力を高める学習機会を提供した。また、親子参加型行事である「ミモザの会」を毎月開催し、異世代の交流を図りながら家庭教育支援を行った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働活動の町内全域の取組については、情報交換する機会があまりないため、活動を精選したり充実したりしていくためにも、情報を共有できる場をつくっていくこと。 ・家庭教育支援チームの取組が、町内全域に広がっていないため、家庭教育支援チームの更なる周知をどのように進めていくか、チーム員をどのように増やしていくか、関係他課や団体とどのように連携していくか考えていくこと。 												
<p>◆放課後子ども教室推進事業の拡充</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖浦っ子クラブ（沖浦小学校1・2年生児童対象）、なぎさクラブ（油田小学校・城山小学校・森野小学校・島中小学校・浮島小学校・安下庄小学校児童対象）、カップスイミングクラブ（東和地区小中学校児童生徒対象）、の各クラブで、子どもたちの安心・安全な居場所を確保するとともに、様々な体験活動を通して、地域の方と子どもたちとのふれあいが深まるとともに、児童の主体性を高めたり豊かな人間性を育んだりすることにつながった。 <table border="1" data-bbox="496 1765 1393 1937"> <thead> <tr> <th>教室名</th> <th>開催回数</th> <th>延べ参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>なぎさクラブ</td> <td>15回</td> <td>214人</td> </tr> <tr> <td>カップスイミングクラブ</td> <td>3回</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>沖浦っ子クラブ</td> <td>120回</td> <td>693人</td> </tr> </tbody> </table>	教室名	開催回数	延べ参加者数	なぎさクラブ	15回	214人	カップスイミングクラブ	3回	32人	沖浦っ子クラブ	120回	693人
教室名	開催回数	延べ参加者数											
なぎさクラブ	15回	214人											
カップスイミングクラブ	3回	32人											
沖浦っ子クラブ	120回	693人											

	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象ではない小学校区をどのようにしていくか、また、なぎさクラブの対象校区の拡大に伴い、増加した参加者の対応のために指導者をどのように確保していくかという点で課題があるため、その対応策を考えていくこと。
<p>◆青少年育成町民会議の活動の充実</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成町民会議の活動を支援するために、補助金の交付、総会・役員会・情報交換会の開催、環境浄化活動・あいさつ運動推進活動等を実施し、活動の充実を図った。 ・周防大島町青少年育成町民会議の開催 (町全体の総会、三蒲地区・小松 屋代地区・沖浦地区の情報交換会、大島地区・久賀地区・東和地区・橘地区の役員会を開催) ・こども環境クリーンアップ活動の実施 (大島地区・久賀地区・橘地区の図書取扱店で有害図書類等区分陳列を確認した。) ・あいさつ運動標語募集・審査・啓発 (入賞作品表彰、幟設置) ・図書館まつりの支援 (橘地区) ・どんど焼きの開催・支援 (久賀地区・橘地区) ・花の苗、鉢の配付 (久賀地区・東和地区) <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動の広がりが限定的であるので、標語募集をきっかけとして、よりよいあいさつについて児童・生徒・学生に考えてもらうとともに、青少年育成に直接関わる大人が中心となって、それぞれの立場で青少年に積極的にあいさつの声かけをしていくことを、いろいろな場で伝え広めていくこと。
<p>◆子ども会等の活動の充実</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども会の活動を支援するために、補助金の交付、研修会の案内、情報交換会を開催した。 ・周防大島町子ども会育成連絡協議会の開催 (各地区で子ども会会長集会を開催) ・県子ども会連絡協議会総会・指導者研修会 ・奉仕活動、清掃活動、ラジオ体操、どんど焼き等の開催 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者研修会への積極的な参加を促すことで、子ども会の意義や指導者の役割等について理解を図ること。

<p>◆体験活動の実施</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周防大島少年の船洋上セミナーの実施 大島商船高等専門学校練習船「大島丸」を利用し、「船内や見学地、江田島青少年交流の家で、仲間とともに様々な活動を通して、児童の主体性や豊かな人間性を育む」ことを目的として、町内の小学校 6 年生を対象とし、43 名が参加。小学校教員 6 名、大島商船高等専門学校教員 9 名、教育委員会職員 12 名が指導にあたった。各活動で児童が「考えて行動する」「協力し合う」「感謝の気持ちをもつ」という 3 つのめあてを意識できるように指導を行うことにより、児童一人ひとりがめあてを意識して 2 泊 3 日の活動に取り組むことができていた。 <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・真夏における活動であることから健康管理について長年の課題となっている。ある程度のゆとりを確保するなど日程の見直しや健康管理担当者の確保など検討すること。 ・消費税改正や物価の変動などにより事業経費に変更が生じていることから負担金などの見直しを図ること。
<p>◆成人式の開催</p> <p>【総合評価】 計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <p>日 時 令和 2 年 1 月 4 日（土） 場 所 橘総合センター 対象者 166 人 出席者 250 人（新成人 83 人 来賓等 167 人） 内 容 式典、記念撮影 ビデオレター上映</p> <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成人式の時間的制約の中において、ふるさとをテーマにした効果的で実りある企画を今後も検討すること。

3 人権教育の推進

- 「山口県人権推進指針」の周知と人権意識の高揚
- 指導者の養成による人権教育推進体制の充実
- 「周防大島町人権教育推進大会」の開催
- 各公民館における人権学習講座の開催

<p>◆人権教育推進委員会の開催</p> <p>【総合評価】 計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の人権教育の方針や啓発事業計画についての協議、人権啓発作品の審査等を実施し、人権教育推進についての共通理解や意見交換等を行った。 ・第1回人権教育推進委員会 R1.6.10 町人権教育重点施策、事業計画、作品募集等について協議 ・第2回人権教育推進委員会 R1.9.17 人権啓発作品審査、人権教育推進大会の運営 次年度の人権教育推進大会講演講師の選定について協議 ・人権教育推進大会準備会 R2.1.29 人権教育推進大会準備、最終打ち合わせ <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地区の人権学習講座について、委員の意見を充分に取り入れられていないので、講師選定や啓発活動内容についても、人権教育推進委員会の協議内容に取り上げ、人権教育推進の充実を図っていくこと。
<p>◆相談等の支援体制の整備・充実</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権に関わる相談については町福祉課と連携し、山口県人権対策室や山口県教育庁人権教育課の指導のもと、支援を行っている。また、相談窓口として、内容に応じて山口地方法務局・やまぐち総合教育支援センター等の関係機関を紹介し、町広報紙においては、人権相談開設日（毎月1回）を周知している。 <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権に関わる相談については町福祉課の対応となるが、ほとんど相談がないというのが現状である。広報紙以外にどのような方法で住民に周知するかが課題である。

<p>◆人権教育推進大会の実施</p> <p>【総合評価】 計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民の人権意識の高揚を図るために、年1回各地区持ち回りで人権教育推進大会を実施している。内容については、人権教育推進委員会で検討し町民の実態にあったものを実施した。また、参加者一人ひとりの人権意識の高揚を図った。 ・令和元年度人権教育推進大会 R2.1.30 (大島文化センター) 内 容 オープニングセレモニー (明新小学校・大島中学校) 人権啓発作品の表彰・発表 人権擁護委員による寸劇 講 演 「ふるさとでの仕事に夢中になった理由」 講 師 沖永 優子 様 (フリーパーソナリティー) 参加者 248 人 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催地区以外の住民も参加しやすいように、マイクロバスを運行しているが、あまり活用されていないので、積極的に呼びかけていくこと。
<p>◆公民館学級・講座における学習会の実施</p> <p>【総合評価】 計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催の人権学習講座を町内4地区で実施し、町民の人権意識の高揚を図った。 ・久賀地区人権学習講座 (11/26 久賀総合センター) 参加者 27 人 講演「支え、支えられて」 ・橘地区人権学習講座 (10/ 8 橘総合センター) 参加者 98 人 講演「ほんとうの自分に向き合う」 ・東和地区人権学習講座 (12/11 東和総合センター) 参加者 50 人 講演「人権について考えよう～身のまわりを見渡してみませんか?～」 ・大島地区人権学習講座 (12/4 大島文化センター) 参加者 75 人 講演「ことばのぬくもり『人権』を捉える窓口として」 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者のニーズ (要求課題) や本町の必要課題に応じたテーマで講座を開催しているが、地区によって参加者数に差がある。今後は、地区を越えた参加者の呼びかけや、学校運営協議会・地域協育ネット関係者へも呼びかけていくこと。
<p>◆人権に関する児童生徒の応募入選作品の表彰・発表</p> <p>【総合評価】 計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内の小・中学校児童生徒、周防大島高等学校生徒、大島商船高等専門学校学生 (1～3年) を対象に、人権啓発作品の募集を行い14校から456点の応募があった。また、入賞作品の表彰や発表、展示等の人権尊重の精神を育むための啓発活動を行い、明るく幸せな町づくりを推進した。 ・人権啓発作品募集 (夏季休業中) 標語・作文 (小学校5・6年生対象) 標語・作文・詩・ポスター (中学生対象) 標語 (高校生対象)

	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作文の部の応募者が少ないため、児童・生徒一人ひとりが人権について考えるきっかけをつくるために、募集の目的の積極的な周知を図っていくこと。
<p>◆人権教育研修会の実施</p> <p>【総合評価】 計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人権教育推進委員、社会教育委員、人権擁護委員、人権施策推進協議会委員、町小・中学校教職員、町職員の合同研修会を実施し、「山口県人権推進指針」の周知や人権教育に関わる様々な立場の方の資質向上を図った。 ・ 周防大島町人権教育研修会（R元.8.8 大島文化センター） 参加者 187人 <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者が限定的なので、人権推進指針の趣旨や分野別施策の理解を人権教育に携わる一人ひとりに深めていただけるように、定期的に研修会に参加していただいたり、職場等で復伝をしていただいたりする仕組みを作ること。
<p>◆人権教育推進委員研修会の開催と積極的な参加</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人権教育推進委員の資質向上に向けて、町主催・県主催人権教育研修会への参加の呼びかけを行った。 ・ 周防大島町人権教育研修会（R元.8.8 大島文化センター） ・ 学校・地域人権教育推進指導者研修会（R元.9.13 山口総合教育支援センター） ・ 山口県人権教育研修会（R元.10.31 山口南総合センター） <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県主催研修会の参加者が少ないため、指導者育成のためにも地元で開催される講演会や研修会への参加を積極的に呼びかけていくこと。

4 スポーツの振興

- 生涯スポーツの普及や地域スポーツの充実
- 各種指導員の養成・確保及び研修会の充実
- スポーツ施設の機能向上と利用促進
- 学校体育施設開放の促進及び効果的な活用
- 総合型地域スポーツクラブの育成

<p>◆生涯スポーツの普及</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域のスポーツ大会から町内全域、そして広く町外、県外を対象とした大会まで、また、内容も親睦を図るものから競技性の高いものまで幅広く実施した。 ・身近な地域におけるスポーツ大会 地域の特色を生かし、住民のニーズに応じた内容で実施した。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">地区名</th> <th>大会名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大島地区</td> <td>屋代湖駅伝、大島地区対抗球技大会、B & G オープンバレーボール大会（台風のため中止）、カヌー教室、プールでOP ヨット体験会、大島元気っ子水泳教室他</td> </tr> <tr> <td>久賀地区</td> <td>職域ソフトボール大会（2回）、グラウンドゴルフ大会、ニュースポーツ大会、シニア卓球大会他</td> </tr> <tr> <td>橘地区</td> <td>春季・秋季親睦球技大会（ソフトボール・ソフトバレーボール）、剣道大会他</td> </tr> <tr> <td>東和地区</td> <td>グラウンドゴルフ大会、水泳教室（夏季のみ）、球技大会他</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・町内全域を対象としたスポーツ大会 各地域のチームや選手が参加し、親睦又は交流を図るとともに技術の向上を図った。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">大会名</th> <th style="width: 15%;">開催月日</th> <th style="width: 35%;">参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>郡壮年軟式野球大会</td> <td>5/12</td> <td>2チーム 36人</td> </tr> <tr> <td>郡グラウンドゴルフ大会</td> <td>5/29</td> <td>65人</td> </tr> <tr> <td>郡卓球大会</td> <td>6/9</td> <td>66人</td> </tr> <tr> <td>郡バレーボール大会</td> <td>6/16</td> <td>3チーム 35人</td> </tr> <tr> <td>郡ソフトボール大会</td> <td>6/23</td> <td>2チーム 33人</td> </tr> <tr> <td>郡スポーツ少年団交歓大会 （バレーボール）</td> <td>6/23</td> <td>2チーム 12人</td> </tr> <tr> <td>郡スポーツ少年団交歓大会 （ソフトボール）</td> <td>6/22</td> <td>3チーム 51人</td> </tr> <tr> <td>郡陸上競技大会</td> <td>7/7</td> <td>353人</td> </tr> <tr> <td>郡ソフトテニス大会</td> <td>7/13</td> <td>70ペア 140人</td> </tr> <tr> <td>郡水泳大会</td> <td>8/18</td> <td>70人</td> </tr> <tr> <td>サザンセト大島オレンジカップ</td> <td>10/6</td> <td>16チーム 224人</td> </tr> <tr> <td>大島カップ大会（郡ゴルフ大会）</td> <td>10/20</td> <td>69人</td> </tr> <tr> <td>郡武道大会</td> <td>11/17</td> <td>55人</td> </tr> </tbody> </table>	地区名	大会名	大島地区	屋代湖駅伝、大島地区対抗球技大会、B & G オープンバレーボール大会（台風のため中止）、カヌー教室、プールでOP ヨット体験会、大島元気っ子水泳教室他	久賀地区	職域ソフトボール大会（2回）、グラウンドゴルフ大会、ニュースポーツ大会、シニア卓球大会他	橘地区	春季・秋季親睦球技大会（ソフトボール・ソフトバレーボール）、剣道大会他	東和地区	グラウンドゴルフ大会、水泳教室（夏季のみ）、球技大会他	大会名	開催月日	参加者数	郡壮年軟式野球大会	5/12	2チーム 36人	郡グラウンドゴルフ大会	5/29	65人	郡卓球大会	6/9	66人	郡バレーボール大会	6/16	3チーム 35人	郡ソフトボール大会	6/23	2チーム 33人	郡スポーツ少年団交歓大会 （バレーボール）	6/23	2チーム 12人	郡スポーツ少年団交歓大会 （ソフトボール）	6/22	3チーム 51人	郡陸上競技大会	7/7	353人	郡ソフトテニス大会	7/13	70ペア 140人	郡水泳大会	8/18	70人	サザンセト大島オレンジカップ	10/6	16チーム 224人	大島カップ大会（郡ゴルフ大会）	10/20	69人	郡武道大会	11/17	55人
地区名	大会名																																																				
大島地区	屋代湖駅伝、大島地区対抗球技大会、B & G オープンバレーボール大会（台風のため中止）、カヌー教室、プールでOP ヨット体験会、大島元気っ子水泳教室他																																																				
久賀地区	職域ソフトボール大会（2回）、グラウンドゴルフ大会、ニュースポーツ大会、シニア卓球大会他																																																				
橘地区	春季・秋季親睦球技大会（ソフトボール・ソフトバレーボール）、剣道大会他																																																				
東和地区	グラウンドゴルフ大会、水泳教室（夏季のみ）、球技大会他																																																				
大会名	開催月日	参加者数																																																			
郡壮年軟式野球大会	5/12	2チーム 36人																																																			
郡グラウンドゴルフ大会	5/29	65人																																																			
郡卓球大会	6/9	66人																																																			
郡バレーボール大会	6/16	3チーム 35人																																																			
郡ソフトボール大会	6/23	2チーム 33人																																																			
郡スポーツ少年団交歓大会 （バレーボール）	6/23	2チーム 12人																																																			
郡スポーツ少年団交歓大会 （ソフトボール）	6/22	3チーム 51人																																																			
郡陸上競技大会	7/7	353人																																																			
郡ソフトテニス大会	7/13	70ペア 140人																																																			
郡水泳大会	8/18	70人																																																			
サザンセト大島オレンジカップ	10/6	16チーム 224人																																																			
大島カップ大会（郡ゴルフ大会）	10/20	69人																																																			
郡武道大会	11/17	55人																																																			

- ・スポーツを通じて町内、県内外との交流を深める大会
町内の参加者だけでなく県内外へ参加を呼びかけ、スポーツを通じて人的交流を促進し、人と人とのつながりを深めた。

大会名	開催月日	参加者数
サザンレク片添ビーチバレー大会	7/14	76チーム 188人
近県ソフトテニス大会	10/27	97ペア 194人
大島一周駅伝競走大会	12/15	57チーム 522人
サザンセット大島 周防大島町長杯 高校サッカーフェスティバル	1/11～13	12チーム 460人
大島郡フットサル大会	2/23～24	38チーム 277人
サザンセット大島ロードレース大会	2/2	3,163人
サザンセット大島少年サッカー大会 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)	—	—

【課題】

- ・身近な地域におけるスポーツ大会
長年にわたり地域に支持され開催されてきたスポーツ大会は、スポーツの普及に大きな役割を果たしてきた。高齢化が進む中、地域の特性に応じた内容や大会運営の方法等を検討すること。
- ・町内全域を対象としたスポーツ大会
児童から高齢者を対象とした幅広い年齢層に対応したスポーツ大会を実施した。また、各種目の競技力向上についても貢献してきた。今後、競技内容や運営方法を検討し、より質の高い大会をめざすとともに参加者が主体的、自主的に運営に関われるよう検討すること。
- ・スポーツを通じて町内、県内外との交流を深める大会
本町に定着した大会となっているが、一部の大会において、参加者が減少傾向にある。また、運営役員の確保が困難な状況も生じている。それぞれの内容や運営方法を検討し、なお一層のスポーツを通じた県内外の交流人口の増加に努めること。
- ・だれでも、いつでも、どこでもできる生涯スポーツの普及
あらゆるスポーツを通じて生涯スポーツの普及については、一定の成果を収めている。さらに、より多くの町民の親睦、健康と生きがいを支えるため、年齢・性別等を問わず誰でも手軽に楽しめる生涯スポーツの普及を図ること。

<p>◆スポーツ団体及び総合型地域スポーツクラブの育成支援</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種目別スポーツ団体 競技種目ごとのスポーツ団体（クラブ）は、社会教育施設や学校施設を利用し、定期的に活動している。また、大会を独自に企画・運営している団体もある。 ・総合型地域スポーツクラブ 1クラブが活動中であり、多種多様なスポーツ活動をしている。現在もう1クラブ設立の動きがあり、県と連携して設立準備を進めている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブの新たな設立を目指して、先進的なスポーツ団体（クラブ）の活動の紹介や、スポーツに関する情報を提供する等育成スポーツ団体（クラブ）の活動支援と併せて、活動のキーマンとなる人材の発掘・育成・確保が課題である。
<p>◆スポーツ推進委員の養成と研修機会の充実</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員は、各地域のスポーツ少年団やシニア層のスポーツサークル等の実技指導を行うとともに、スポーツクラブの育成と活動を支援や、スポーツイベントの補助など、支えるスポーツの観点からの活動をしている。 ・スポーツ推進委員連絡協議会を組織し、情報交換や研修会の実施、県主催の指導者研修会等に参加し、資質の向上を図っている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来の役割であるスポーツの実技指導等の他、スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整が追加され、推進委員の役割が多様化している。 ・スポーツ推進委員の研修機会の充実を図り、資質向上に努めるとともに、推進委員の世代交代がスムーズに行われるよう、地域の有能な人材を発掘養成をすること。
<p>◆特色を生かした社会体育施設の積極的な活用</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋レクリエーション活動を軸に、自然体験活動等を行う B&G 海洋センターは、カヌー・ヨット教室、大島元気っ子水泳教室等を実施し、青少年の健全育成や町民の健康づくりを支援した。 ・総合体育館や陸上競技場は、平成 25 年度から指定管理制度を導入しており、指定管理者による自主運営事業の実施や、本町におけるスポーツの拠点施設として、町内全域を対象としたスポーツ大会や、町外との交流を深めるスポーツイベント等に利用されており、交流人口の拡大に貢献するとともに、町民に利用しやすい生涯スポーツの場の環境づくりに努めた。

	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各体育施設の設備充実とともに、より多くの町民が生涯にわたってスポーツに親しめるようさらに環境の整備が必要である。
<p>◆学校体育施設等の開放促進と積極的な活用</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多くの学校が、放課後や夜間・休日に学校体育館や運動場等を開放しており、スポーツ少年団の練習場所や地域住民のスポーツ・レクリエーションの場となっており、生涯スポーツの振興や地域住民の交流が図られている。 <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校体育施設の地域への開放は、地域のスポーツ環境の整備に欠かせない手法である。今後も、備品や設備等を計画的に整備・充実させ、生涯スポーツ活動の場として、有効活用を図ること。

総務

【総務課】

1 中学校の再編に向けた対応

(1) 中学校統合準備委員会

平成31年4月に中学校統合準備委員会を設置し、令和3年4月の統合中学校の開校に向け具体的な対応等について協議を開始した。当会は、関係3中学校の先生方、PTA関係者、学校運営協議会会長、関係小学校長、地域連携教育エリアアドバイザー、周防大島高等学校の方々で構成し、詳細事項の調整については、総務部会、教育課程部会及び生徒指導部会の3つの部会を設置し、検討及び調査を進めている。

(2) 統合中学校の開校に向けた準備対応

年 度	準備対応内容	総合評価
平成31年度 令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校統合準備委員会を設置（総務部会、教育課程部会及び生徒指導部会の3部会において協議調整） <ul style="list-style-type: none"> 学校の名称、校章、校歌に関すること PTAや学校運営協議会の組織運営に関すること 学校経営方針や教育課程に関すること 通学体制に関すること 制服や持ち物等に関すること ・周防大島町立小学校及び中学校設置条例の一部改正議案議決（統合中学校の名称(周防大島中学校)議案) 	概ね計画どおり

(3) 統合中学校校舎新增築事業

令和3年4月の統合中学校の開校に向け、現久賀中学校の体育倉庫等新增築工事と屋内運動場バスケットコート改修工実施設計業務を行った。また、美術室棟新增築工事は令和2年1月に着手し、令和2年度への繰越事業とした。なお、既存校舎等改修工事は令和2年度に実施する予定である。

事業名	事業概要	事業の取組と成果	事業決算額	総合評価
1 統合中学校体育倉庫等新增築工事	中学校統合に向けて生徒の教育環境の改善を図るため、文部科学省の補助金を活用して体育倉庫・部室等の新增築工事を行った。	既存倉庫・砂場・鉄棒の解体撤去後、体育倉庫・部室の新增築及び砂場を新設した。	30,565,064円	計画どおり (令和元年11月完成)
2 【繰越事業】 統合中学校美術室棟新增築工事	中学校統合に向けて生徒の教育環境の改善を図るため、文部科学省の補助金を活用して美術室棟及び渡り廊下の新增築を行う。令和2年1	美術室棟及び渡り廊下の新增築は令和2年7月末を目標に工事完成予定。	11,450,080円	令和元年度事業費は委託料と建築・機械設備工事の前払金執行で概ね計画どおり

		月に工事着手し令和2年度への繰越事業とした。			
--	--	------------------------	--	--	--

2 油田小学校と森野小学校の統合に向けた対応

本町においては、小学校10校のうち児童数30人以下の小規模校が5校、また、複式学級を抱える学校が7校となっている。油田小学校は少子化の影響により極小規模の状態が続いており、今後も児童の増加が見込めないため、保護者の総意として森野小学校への統合について強い要望があり、令和3年4月の統合に向けての準備を進めている。

年 度	準備対応内容	総合評価
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 油田小学校保護者より、児童の減少に伴い令和3年4月に森野小学校への統合について要望 油田小学校にて油田小学校区地域説明会を開催 東和総合センターにて森野小学校区地域説明会を開催 白木多目的共同利用施設にて城山小学校区地域説明会を開催 油田地区住民へ油田小学校と森野小学校の統合準備について回覧で周知 周防大島町立小学校及び中学校設置条例の一部を改正する条例の一部改正議案議決 	概ね計画どおり

3 学校施設等の整備・拡充

安心・安全な学校づくりや快適な学校施設を提供し、学校内における環境整備の向上を図るため、令和元年度に実施した主な事業

事業名	事業概要	事業の取組と成果	事業決算額	総合評価
1	【繰越事業】 久賀小学校空調設置工事	平成30年度からの繰越事業で、児童・生徒の教育環境の改善を図るため、文部科学省の臨時交付金を活用し普通教室等に空調設備を設置した。	普通教室6室、特別支援教室2室、校長室、職員室2室に空調設備を設置した。 平成30年度 7,254,600円 令和元年度 24,056,760円	計画どおり (令和元年6月完成)
2	【繰越事業】 大島中学校空調設置工事	普通教室3室、特別支援教室2室に空調設備を設置した。	平成30年度 4,418,400円 令和元年度 6,600,840円	計画どおり (令和元年4月完成)
3	【繰越事業】 東和中学校空調設置工事	普通教室3室、特別支援教室2室に空調設備を設置した。	平成30年度 6,318,600円 令和元年度 10,367,400円	計画どおり (令和元年6月完成)

5	久賀中学校屋内運動場トイレ洋式化改修工事	一般家庭の洋式トイレ普及に伴い、学校内における環境整備の向上を図るため和式トイレの一部を洋式化した。	和式トイレ2箇所(男子1、女子1)を洋式トイレに改修した。	631,800円	計画どおり (令和元年8月完成)
6	大島中学校トイレ洋式化改修工事		和式トイレ5箇所(男子2、女子3)を洋式トイレに改修した。	1,299,240円	計画どおり (令和元年8月完成)
7	安下庄中学校トイレ洋式化改修工事		和式トイレ5箇所(男子2、女子3)を洋式トイレに改修した。	1,299,240円	計画どおり (令和元年8月完成)

4 周防大島町学校施設長寿命化計画策定業務

学校施設について耐震化事業は終えたものの、建築から相当年数が経過し老朽化が見られる施設が多くある。このような学校施設について効率的・効果的な老朽施設の再生によるトータルコストの縮減や予算の平準化を図るため、平成30年度及び令和元年度の2箇年事業で計画を策定した。

平成30年度は施設ごとの劣化診断・施設評価と現状の把握・分析を行ったが、令和元年度においては、現状の把握・分析に基づく今後の維持保全の方向性を検討し、施設整備の方針を策定した。

事業概要	事業の取組と成果	事業決算額	総合評価
債務負担行為の設定により、平成30年度は施設ごとの劣化診断・施設評価と現状の把握・分析を行い、令和元年度においては、現状の把握・分析に基づく今後の維持保全の方向性を検討し、施設整備の方針を策定した。	周防大島町公共施設等総合管理計画を上位計画とし、学校施設の具体的な管理計画を定めた。	平成30年度 10,082,880円 令和元年度 3,056,400円	計画どおり (令和2年3月完了)

5 周防大島町語学留学生派遣事業

包括的連携協力に関する協定を締結している山口大学の支援を受け、町内在住の高校生及び高専生を対象に、フィリピンセブ島への語学留学の支援を行った。

事業概要	事業の取組と成果	事業決算額	総合評価
山口大学国際総合科学部の支援を受け、フィリピンセブ島において、日本人経営の語学学校に町内在住の高校生・高専生を2週間派遣した。1日8コマのレッスンのうち6コマはマンツーマンカリキュラムの授業であり、英語力の向上を図ることを目的とする。なお、令和2年	本町から高校生3名と高専生3名、阿武町から高校生4名、和木町から高校生3名の計13名が参加し、現地の人との交流や生活文化	1,057,090円	計画どおり (令和元年8月4日～8月17日に実施)

度以降は姉妹島であるハワイカウアイ島へ変更し、行う予定としている。	に触れるなど充実した時間を過ごし、研修終わり頃には現地の人と英会話ができるまで上達した。		
-----------------------------------	--	--	--